

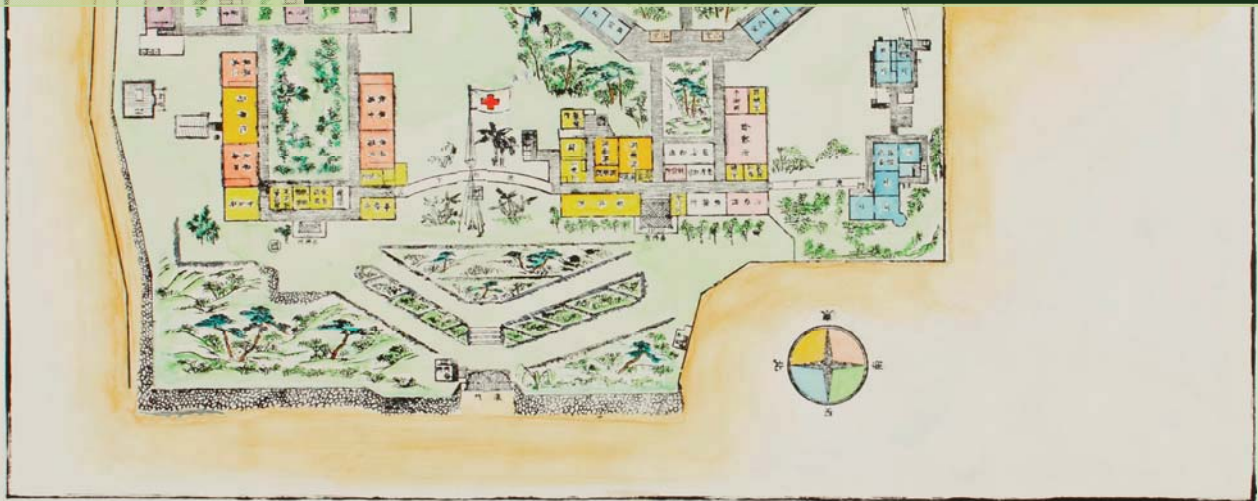
Nagoya University Medical Museum
Small Exhibit 1st

愛知県立病院及医学部校之平面図

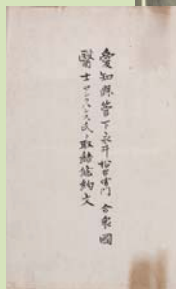
歴史の時間

ミニ展示会

—名古屋大学医学部・附属病院の歴史を遡って—



解体新書



ヨングハンス契約状



校長 後藤新平
送別記念写真



奈良坂源一郎作成の
プレパレート



桐原式軟性胃鏡

2012 9. 11 TUE - 9. 28 FRI

9:00-17:00

土・日・祝日は休館

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

入場無料

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

052-744-2505

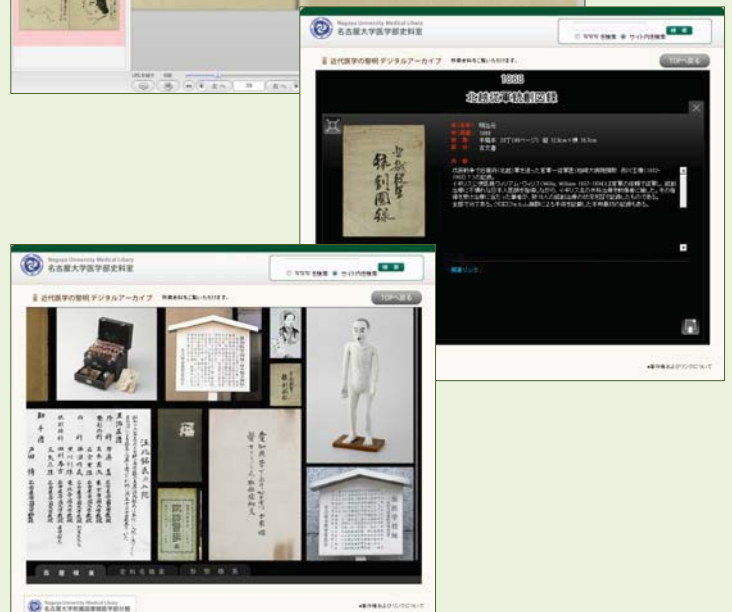
library2@med.nagoya-u.ac.jp

歴史の時間 **ミニ展示会** は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵している近代医学黎明期の史料の中から、名古屋大学医学部・附属病院の歴史に関連する史料の一部を展示公開します。

主な展示品をご紹介します。

1774年	解体新書	ドイツ人医師ヨハン・アダム・クルムスの医学書“Anatomische Tabellen”のオランダ語訳『ターヘル・アナトミア』を、杉田玄白らが翻訳した書物です。安永3年(1774年)に刊行されました。本文4巻、付図1巻からなります。
1873年	愛知県管下永井松右衛門合衆国医士ヨングハンス氏と取結条約文	明治6年(1873年)5月、西本願寺別院に再興された病院は、佐賀県好生館病院教師を退任したばかりのドイツ系アメリカ人ヨングハンス(Junghans, T. H.)を3年契約で教師を迎えました。名古屋大学最初のお雇い外国人教師です。
1876年	ヨングハンス『原生要論』	明治7年(1874年)、ヨングハンス(日本語表記は雍翰斯)が病院附設の医学講習場で行った公開講義の講義録です。内容は英米独等の生理学のダイジェスト版ですが、名古屋大学における最初の学術書となりました。
1881年以降	奈良坂源一郎作成のプレパラート見本	奈良坂源一郎(1854-1934)は、後藤新平に招かれ、明治14年(1881年)、愛知医学学校の解剖学、生理学、組織学の教諭として赴任、40年間、教鞭をとりました。
1883年	校長 後藤新平氏送別記念撮影	後藤新平(1857-1929)は、明治9年(1876年)愛知県公立病院に着任し、明治14年、24歳で病院長兼医学校長となりました。明治16年、内務省に任官、後に東京市長、内相、外相などを歴任し、明治～昭和の政界で活躍しました。
1894年	奈良坂源一郎 挿図帖とその使用例	奈良坂源一郎の解剖書(『解剖簡明』と『局所解剖学図譜』)の挿図に使われた奈良坂自身による作画の人体解剖図です。挿図帖には図のみが示されており、部位の説明は記されていません。
1900年ごろ	種痘用具一式	これは明治中期と推定される牛痘接種用具一式です。伊藤圭介(1803-1901)等の努力によって、尾張藩牛痘接種は、めざましく進展しました。
1937年	桐原式軟性胃鏡	名古屋医科大学の桐原真一教授(-1949)は、昭和8年にウォルフとシンドラーによる軟性胃鏡を改良し、器械技師武井勝に依頼して、昭和12年2月に桐原式軟性胃鏡を完成しました。先端が手元の捜査により前方に屈曲できる胃鏡です。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。



近代医学の黎明デジタルアーカイブ
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>